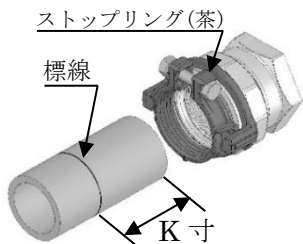


SKX® 施工手順 (水道用銅管 1 形用)

①パイプ挿入量記入

パイプ挿入量(K 寸)を測り、**標線**を記入して下さい。

分解せずにそのまま**標線**まで挿し込んで下さい。



- 注 1) ・パイプ切断のカエリは取り除いて下さい。
・滑剤の塗布は不要です。
・管止めがある場合は、管止めから 3mm 以上あけて施工して下さい。

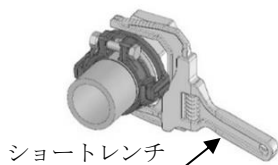
②キャップ本締め

本体とキャップを十分手締め(素手もしくは**スペリ止め付グローブ**で締めなくなるまで)した後、マジック等で**マーキング**して下さい。

- 注 2) ・十分な手締め(素手)は 8N・m 程度です。
・十分な手締めは管を引っ張っても抜けない程度まで締めて下さい。
・手袋使用の場合は、**スペリ止め付グローブ**を使用して下さい。

③キャップ本締め

ショートレンチにて**キャップ**を標準締付回転数(標準締付トルク)で締め付けて下さい。

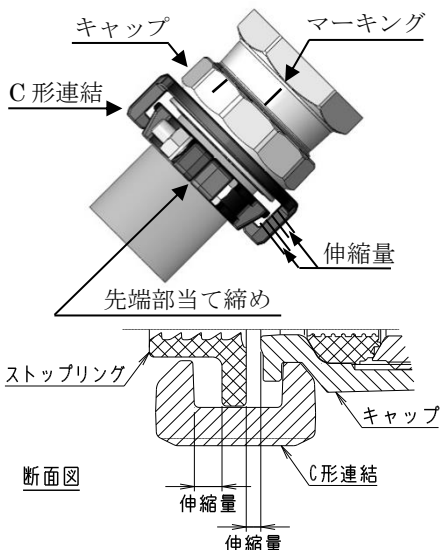


- 注 3) 低温時は通常より 1/4 回転増し締めして下さい。

④ストップリング本締め

C形連結を中心方向に**押えながら**、**ストップリング**を締めやすい位置にして下さい。

両端に伸縮量を保った状態で、**ストップリング先端部**を当て締めして下さい。



- 注 4) 当て締め後さらに**締め付けすぎると破損などの不具合**が生じることがあります。

- 注 5) 管とストップリングが直角になるように締め付けて下さい。

- 注 6) 再施工時は再施工手順書に従って下さい。

⑤施工完了・施工手順チェックシートへの記入

キャップとストップリングの**締め忘れのないように確認**を行って下さい。

《管の取り外し》

- ・ストップリング締付ボルト・ナットとキャップを緩めるだけで**管と分離可能です。(分解不要)**

外れにくい場合は、**ストップリング締付部を開放工具で広げる**ことにより、**管と分離可能です。(分解不要)**

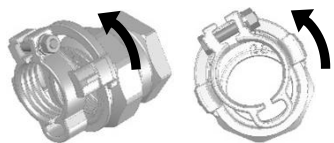
管 呼び径	SR 呼び径 (茶)	本体 呼び径	K (mm) +10/-0	キャップ		ストップリング (参考締付トルク N・m)		六角 対辺		
				十分な手締め後 回転数	参考締付トルク N・m					
13	Cu①13	V13	50	1/4~1/2	(15)	当て締め	(6)	10		
16	Cu①16								(2)	
20	Cu①20	Cu①20	55		(20)		(4)			
25	Cu①25	Su25					(15)			
30	Cu①30	25					(15)	13		
40	Cu①40	32	60							

※太字：下限値

SKXストップリング（SR）交換手順

①C形連結取り外し

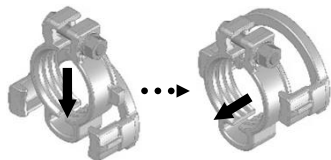
C形連結の一方を支点とし、他方をプライヤー等で回し、取り外す。



③ストップリング交換

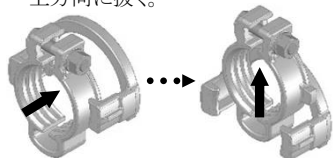
適用管用SRとC形連結を合わせ、SRを下方方向に入れ、C形連結から離す。

※右図のように、ボルト・ナットを上にして、向きが逆にならないように注意する。



②ストップリング取り外し

SRとC形連結を合わせ、SRを上方方向に抜く。



④C形連結取付

C形連結をキャップの外溝に合わせて、C形連結上部を木槌等で軽く叩いて入れ、完了。

